

韓国パク大統領退陣デモと その背景

報告:安周永氏(常葉大学講師)

●1. 韓国の政治と選挙

- 1) 大統領選:5年
- 2) 国会議員選挙(小選挙区253、比例代表47):4年
- 3) 地方選挙(首長、広域自治体議員・基礎自治体議員(小選挙区、比例代表)):4年

●2. 崔順實(チェ・スンシル)事件

- 1) ミル財団及びKスポーツ財団
 - ・持続的な国家予算の投入(利権の形成)
 - ・崔順實(チェ・スンシル)の実質的な人事管理
 - ・財閥からの募金→サムスン副会長の拘束
 - ・朴大統領のサポート(経済界に対する圧力)
- 2) 政府文書の機密漏洩(崔順實の国政への関与)
- 3) 崔順實の娘の不正入学とずさんな成績の管理
- 4) ブラック・リストの作成
 - ・文化芸術界の左派の摘出(政府支援の管理)

●3. ろうそく・デモと政党政治

- 1) 2008年のろうそく・デモ
 - ・ろうそく・デモの特徴—
一般市民の呼びかけ+市民団体のサポート
 - ・政党の変化
民主党:新自由主義政策への反省と普遍的福祉
民主統合党:ろうそく民意の継承
ハンナラ党:生涯マッチュム型福祉体制を構築
- 2) 2016年のろうそく・デモ
 - ・「朴槿恵退陣非常国民退陣行動」
—11月19日のデモ
—12月3日のデモは全国的に230万人
—12月10日のデモ(弾劾裁判の可決の直後)
 - ・政党の弾劾裁判の可決の躊躇とろうそく・デモ
—12月9日→朴槿恵大統領の職務停止と憲法裁判所の弾劾審理の開始

●4. 保守政党による政権交代と朴槿恵政府の特徴

- 1) 国家主義:共同体(国家)>個人
 - ・テロ防止法の制定
 - ・歴史教科書の国定化
 - ・マスコミに対する圧力
- 2) 新自由主義
 - ・労働改革(派遣法改正、成果主義賃金の導入)
 - ・医療の民営化
- 3) 国家主義と新自由主義の結節点
 - ・理念的な親和性:強者にとって開放的な側面
 - ・利害上の整合性:企業エリートと保守統治エリートの利害の一致
 - ・政治的補完性:自由経済を実現する強い国家
- 4) 韓国の特殊性
 - ・国家主義の基盤が強い⇔北朝鮮との対立
 - ・財閥の成長+脆弱な労働組合
⇒経済構造の転換を主張・政権への批判
=「従北左派」

権力に対するけん制だけではなく、国家主義と新自由主義のイデオロギーを克服する政党システムを作ることが重要

●5. 権力とマスコミ

- 1) 保守政党に有利なマスコミ環境の整備
 - ・地上波放送に対する保守政権の圧力—KBS、MBC、YTNへの理事会および社長を政権寄りの人物を任命→マスコミ従事者のストライキ—放送編集に対する政権側の圧力
 - ・保守メディアの独占構造の固定化
⇒マスコミの役割
(番犬、愛玩犬、保護犬、攻撃犬)
- 2) 対抗メディアの発展
 - ・ポットキャスト(ネットラジオ)の拡散
 - ・JTBC(ケーブルテレビ)のニュース

*連絡先:静岡県労働研究所 TEL 054-287-1293 FAX 054-286-7973

〒422-8062 静岡市駿河区稲川2-2-1 セキスイハイムビルディング7F(静岡県評内)
メール roudouadv@wave.wbs.ne.jp ホームページ <http://www.geocities.jp/shizuokarouken/>